

第3回和歌山市新水道事業ビジョン水道料金検討会議 議事概要

1 開催日時等

○開催日時：令和6年（2024年）6月3日（月） 15時00分～16時35分

○場 所：市役所本庁舎 7階 記者会見室

2 説明項目及び内容

(1) 前回の検討会議内容について

料金体系検討の方向性及び具体的な水道料金体系の検討にあたっての視点

(2) 料金改定案について

次の3案について説明

案①「水道料金算定要領に従って算定した案」

案②「口径25mm以上の基本料金増加額を50%軽減した案」

案③「口径25mm以上の基本料金増加額を75%軽減した案」

3 料金改定案に対する委員からの主な意見

- ・ 水道料金算定要領に従って算定された案①は今後の水道事業の経営の安定性、継続性を重視するならば、最も理想的で適合すると思われるが、現行と比べ口径25mm以上の使用者の負担増がかなり大きく、現在の物価状況や経済状況で、個人商店等に負担を求めるのは難しいため、案②か案③が現実的な改定案ではないか
- ・ 長期的な経営の安定性を考慮すると、案②が最もよいのではないかと考える
- ・ 案①はアグレッシブ過ぎるため、案②か案③がよいと考え、従量料金に着目して考えた場合、案②がよいと考える
- ・ 案①は将来の使用水量の減少の影響を受けにくいいため、水道事業の経営の安定化には最もよいが、基本料金の上り幅が大きすぎるのが懸念となるため、案②か案③のいずれかがよいと考え、一番のボリュームゾーンである口径13mmと口径20mmのことを考えると、少しでもそのボリュームゾーンの負担を抑えられる案②が最もよいと考える

4 検討会議での総括

コロナ禍後の経済状況、昨今の物価上昇などの社会情勢と市民負担の増加も考慮し、また、段階的な実施とし、次回の改定で再検討を行うことも視野に入れ、検討会議では参加委員全員により料金改定案②が支持されました